

2010年7月刊行予定

新訂 寛政重修諸家譜 別巻一 葬地・寺社名索引

村山貴久男 編 A5判上製・函入・360頁(予定)

定価 10,290円(本体9,800円+税5%) ISBN978-4-8406-2050-5 C3321

【続刊】別巻二 所領索引(2014年刊行予定)

高柳光寿監修

新訂 寛政重修諸家譜

既刊27冊

かんせいちょうしゅうしよかふ
A5判 平均395頁、揃10,258頁【セット品切】
揃136,500円(本体130,000円+税5%)
各5,250円(本体5,000円+税5%)

【品切】⑱・⑲

江戸幕府は、寛永18年(1641)、諸大名、下士までの系譜を録して『寛永諸家系図伝』を編纂したが、寛政11年(1799)、若年寄堀田正敦に命じて再度諸家より家譜その他の資料を提出させ、林述斎・屋代弘賢ら60余名を用いて編纂の業を起こさせた。以後14年の歳月を費して完成したのが本書で「重修」と題する所以である。量的に膨大な系譜集であるばかりでなく、質的にも各々の家々より提出された由緒・事蹟を、幕府の日記等、確実な史料に拠って吟味し、改めるものがあればその趣意を註して改め、按文を施すなどしている。記述の対象とするところは、徳川氏一門を除く御目見以上の大名・旗本、及び医師・同朋・茶人等幕府と直接の支配関係にあったものに限り、その本支分脈を明らかにし、家の由緒から、個々人の事蹟を記録している。全1520巻に収める人数約10万名に及ぶ、本邦最大の武家系譜集。内閣文庫所蔵の献上本に基づき、全面的な校訂・補正を施すと同時に、カード約40万枚を整理した人名索引4冊を完備し、本書の利用価値は増々高まっている。

■既刊の索引(4冊)の内容■

第1 姓氏(家名)・諱①(ア～タ)

- ・姓氏(家名)を、本文に付せられた読みに基づき、表音式五十音に配列。
- ・諱(いみな)を、音読による表音式五十音に配列し、氏姓(家名)を付す。

第2 諱②(チ～ワ)・称呼①(ア～コ)

- ・諱(いみな)を、音読による表音式五十音に配列し、氏姓(家名)を付す。
- ・称呼(しょうこ)は、幼名・通称・号・院号を訓読による表音式五十音に配列。

第3 称呼②(サ～ハ)

- ・称呼(しょうこ)は、幼名・通称・号・院号を訓読による表音式五十音に配列。

第4 称呼③(ヒ～フ)・称呼④(官職名)・称呼⑤(国名)

- ・称呼(しょうこ)は、幼名・通称・号・院号を訓読による表音式五十音に配列。
- ・官職名を、訓読による表音式五十音に配列。
- ・国名による呼称を、訓読による表音式五十音に配列。

齋木一馬・岩沢愿彦・戸原純一校訂

徳川諸家系譜

全4冊・完結

とくがわしよかけいふ

A5判 平均297頁、揃1,188頁
揃25,200円(本体24,000円+税5%)
①②各6,300円 ③5,250円 ④7,350円

徳川家および『寛政重修諸家譜』には収められていない徳川一門の松平諸家の家譜を集め編したものである。すなわち、徳川将軍家については、「徳川幕府家譜」「柳営婦女伝系」「幕府祚胤伝」を、御三家は「御三家系譜」を、御三卿・松平諸家は「華族系譜」によりこれを収めた。このうち「徳川幕府家譜」は、徳川将軍家歴代の系譜で、12代家慶までを収める。併載の「幕府祚胤伝」「御三家系譜」「御三卿御家譜」とあわせ見ることにより、徳川将軍家・御三家・御三卿については最も的確に知ることができる。本書によって徳川・松平家の本支流諸家の全貌がはじめて明らかになる。詳細人名索引付。

齋木一馬・岩沢愿彦校訂

断家譜

全3冊・完結

だんかふ

A5判 平均326頁、揃978頁
揃18,900円(本体18,000円+税5%)
各巻6,300円(本体6,000円+税5%)

文化6年(1809)年に田畑吉正によって編纂された全30巻の系譜集で、慶長より文化年間までの約200年の間に断絶した大名以下御目見以上の士、880余家の系譜を収める。本書は、近世における制度史・社会史の史料として独特の価値をもつものであることは言うまでもないが、全編を通じ、近世武家の負った宿命をつぶさに看取すべき文献でもある。無嗣断絶の例が多いのは当然のことであるが、偽って浪人や町人の子を養子とし、発覚して追放にあう例も少なくない。また、『寛政重修諸家譜』の収録下限である寛政10年(1798)以降、文化年間までの断絶家の譜が収められている。江戸時代の御目見以上の幕臣と大名を知る上で、『寛永諸家系図伝』『寛政重修諸家譜』とあわせ、必須必見の家譜集。詳細な人名索引を編して巻末に付す。

八木書店 出版部

Yagi Bookstore Ltd. Publishing Dept.

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8

●TEL:03-3291-2961[営業] -2969[編集] -6300[FAX]

●E-mail:pub@books-yagi.co.jp ●Web:http://www.books-yagi.co.jp/pub

申 込 書	村山貴久男編・八木書店刊 (Tel:03-3291-2961/Fax:-6300) 2010年7月刊行予定		取扱店(番線印)
	新訂 寛政重修諸家譜 別巻一 葬地・寺社名索引 [] 冊		
	ISBN978-4-8406-2050-5 C3321 ¥9800E 定価 10,290円(本体9,800円+税5%)		
	お名前(ふりがな)	TEL	
		FAX	
	ご住所 〒	E-MAIL	

八木書店

江戸期研究の基本史料

『寛政重修諸家譜索引』の最新刊!

新訂 寛政重修諸家譜 別巻一

葬地・寺社名索引

内容見本

さらに使いやすく…

愛好家・研究者・図書館…

近世史を研究するすべての人へ。

待望の新索引、43年ぶりに遂に完成!

村山貴久男編

二〇一〇年七月刊行予定!

組見本

- 本索引では…『寛政重修諸家譜』の本文中に、その寺社がどのような内容で記載されているかを区別して掲げ、検索の便を図った。
- 各項目の次に…()内に、その寺社が所在する国名・郡名を入れた。ただし、江戸近郊のものは、本文の記載通りに地域名のみを入れた。

高源寺 → 本願寺(築地、西本願寺)
 高巖院 → 妙心寺(京都)
 高松軒 → 建仁寺(京都東山)久昌院
 高松寺(鎌倉)
 葬地 水野重良・重上・忠興 ⑥
 92下93上94上
 三宅良寛 ⑩16下
 開山 水野重良女(日隆) ⑥93中
 尼となり住す 水野重良女(日祐)
 ⑥93中
 高松寺(紀伊国)
 葬地 竹本正吉 ⑩255下
 高勝寺(伊豆国吉田)
 住職 鈴木正氏(万岳) ⑩416下
 高勝寺(武蔵国多摩郡坂浜村)
 葬地 富永吉信 ⑦362中
 住職 尊栄 ⑦361下
 高乗寺(武蔵国多摩郡們田村)
 葬地 窪田忠廉 → ②0421下
 窪田正久・吉久 ④362下
 窪田吉正 → ④361中
 高乗寺(武蔵国多摩郡八王子)
 葬地 深谷盛吉~祥尹 ⑩240中
 高繩天神(伊予国)
 治承年中 平氏に従わず——の森
 にて討死 河野通清 ⑩150中
 高蔵寺(武蔵国鉢形領今市村)
 葬地 柳沢信俊(葬地に建立) ③
 247中
 高台寺(京都東山)
 葬地 浅野長勝女(豊臣秀吉室、
 高台院、建立) ⑤338上
 亀井政矩 ⑦222下
 木下勝俊 ⑩138中
 堀直政 ⑩365上
 寛永元・9・6以後 高台院衣食料の
 うち五百石を寺領に寄せらる ⑤
 338上

円徳院
 葬地 木下利房 → ⑩138下
 高田権現(常陸国)
 ——神職千田祖憲 苦竹良軌実父
 ⑩89中
 高伝寺(肥前国佐嘉郡本庄村)
 葬地 鍋島直茂(開基)・勝茂継室
 (家康養女、岡部長盛女)・
 光茂 → ⑩286中288下289
 下
 高桐(東)院 → 大徳寺(京都紫野)
 高德寺(青山)
 葬地 本康德亮 → ②0216中
 本康德長 → ②0215下
 村山貞謙 ②32下
 高德寺(大坂南久太郎町)
 葬地 深津正明 ⑩151下
 高德寺(信濃国佐久郡芦田村)
 葬地 依田守直 ⑥229上
 高福寺(遠江国赤地)
 葬地 江馬時成・一成 ②0203下
 204上
 高野山(紀伊国)
 葬地 滝川一益 ⑩27上
 中山勝時・勝政 ⑩238上中
 中山忠光 ⑩245中
 服部保正・保成 ⑩57中下
 堀内氏善 ⑩182中
 本多勝行(大和国郡山の良
 玄寺に火葬し、遺骨を葬
 る) ⑩235下
 本多政勝(同上)・忠盈(石
 見国浜田の長沢山に火葬し、
 遺骨を葬る) ⑩219下223下
 前田利常(加賀国金沢の宝
 円寺に葬り、分骨) ⑩276
 中
 宮崎泰景 ⑩256上

諏訪頼軌 → ⑥187下
 千村重堅 → ②400中
 土岐頼親 → ⑤228中
 仁科信勝・信貞 ③296中
 八木正周 → ②0434下
 春徳寺(肥前国長崎)
 葬地 土屋守直 ②196中
 住職 長谷川興(不白) ⑩327中
 春日(社)(奈良)
 ——社務富田光泰女 里村景美妻
 ⑩305上
 大永7 造営の奉行を勤む 奈良
 秀度 ⑩202中
 天正8 造営の奉行を勤む 中坊
 秀祐 ⑩202下
 慶長7 宝蔵修造の時、仮に神宝
 を遷し、功成り納むる事を沙汰
 宅間忠次 ⑩227中
 慶長17 造営を奉る 中坊秀政 ⑩
 203上
 寛永8 造営の奉行を勤む 中坊秀
 政 ⑩203中
 承応元・5・27 造営の奉行を勤め、
 叙任 中坊時祐 ⑩203下
 寛文9・11・14 式年造営の裁判に
 加わる事に関し、一乗院門主より
 異議あり、閉門 土屋利次 ⑨229
 中
 寛文11・6・28 神祠遷宮の時、鹿
 多く人々悩みしかば、鹿の角を切る
 溝口信勝 ③137下
 寛永糸図春日の社記に大和国四箇
 郷を神領として寄付とあり 藤原
 頼通 ⑩295上
 ——・興福寺衆徒の棟梁となる
 筒井順慶 ⑩80中
 春日村(信濃国)
 葬地 依田康国 ⑥213中

春陽軒(大坂天王寺町)
 葬地 三宅昌言 ⑩374下
 浚明院殿(家治)御廟所・御霊屋・御宝
 塔 → 東叡山(上野)
 駿河国大宮
 ——神職富士能広に再嫁 天野清
 福女 ⑩175下
 駿府惣社(駿府) ⇨浅間惣社(駿河国)
 ——神職惣社昌興妻 日根野吉重
 女 ⑩337上
 惣社昌興女 日根野高重
 妻 ⑩337中
 惇信院殿(家重)御霊屋・御宝塔 → 増
 上寺(芝)
 順花院
 尼御所——の弟子となり住す 伊
 勢貞為女 ⑧274中
 順光寺(筑後国久留米)
 葬地 夏目保信 ⑥164上
 書写山(播磨国)
 葬地 本多忠政・忠刻・政朝・政
 長・忠国 ⑩218上下219上
 220上221上
 如意庵 → 知[智]恩寺(京都東山百万
 遍)
 如意輪寺(伊豆国大見郷山本)
 建立し住す 上杉(葛見)憲栄 ⑩
 215上
 如意輪寺(紀伊国)
 葬地 神保茂政~春茂 ⑩123中
 如意輪寺(京都山)
 ——寂心弟子 大江定基(円通大
 師、寂照) ⑩233中
 如意輪寺(相摸国六浦)
 ——長老 上杉憲方女 ⑩216上
 如法寺(伊予国喜多郡大洲)
 葬地 加藤泰興~泰温・泰武 ⑩
 16下17下18上下19上

(シ)

- 葬地以外にも…本文を精読し、およそ寺社に係る記事は網羅的に採録した。
- 葬地の次に…住職等の関係記事を掲げ、寺社との婚姻記事をまとめた。
- 各項目は…編年順とし、○中数字で巻数を示し、アラビア数字で頁数、最後に三段組の本文の段数(上・中・下)を表記した。

本書の特長

- 新訂寛政重修諸家譜の葬地(地名のみのものも含む)・寺社名の索引である。その記述は、北海道〜鹿児島まで全国に及び、本文中に記載のある寺社に関する情報を網羅する。
- ①大名・旗本家の菩提寺・墓所を捜し当て、個々人の関わりを知ることができる。
- ②寺社の開基・造営・修理・法事・修法・供奉等について編年で配列し、それに関わった人々を特定できる。
- ③一族の中で、出家した者や寺社方に嫁いだもの、或いは婚姻・縁戚関係を知ることができる。

寛政重修諸家譜とは?

寛政年間(一七八九〜一八〇二)に江戸幕府が編纂した、我が国最大の武家系譜集。徳川一門を除く御目見え以上の大名・旗本、医師・同朋・茶人等の本支分脈を明らかにし、家の由緒から、個々人の事蹟を詳細に記録している。収めるところの人物は約十万名に及ぶ。文化九年(一八一二)に完成。近世史研究の基本図書!